学校番号	119

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えよう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持とう。

２　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	序章「社会と情報とは」、情報社会と情報システム	①情報システムと社会のつながり ②情報システムの具体例 ④情報セキュリティや安全設計	○ ○ ○			○ ○ ○	a：情報セキュリティの仕組みに関心をもち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。情報システムを安定的に運用するための工夫や対策について関心を持てたか。 b：情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:効果的に情報を共有するために、情報機器を活用することができる。 d：安全に活用するためのセキュリティ対策について理解している。	授業観察 ペーパーテスト ワークシート 実習成果物
	アカデミックスキルズ①レポートの作成	・文書処理ソフトウェアの基本操作 ・レポート作成の一連の流れ	○ ○	○	○ ○	○	a：実習に積極的に取り組むことができたか。 b：取り上げたテーマに関連した情報を十分に集め，適切に分類・整理し表現することができたか。 c：文書処理ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。読みやすい文書を作成することができたか。 d：レポート作成の実習を通して,取り上げたテーマについての知識を深めることができたか。	
1学期	情報社会とディジタル技術	①情報を数値であらわす。 ②情報量の単位 ③アナログとディジタルの違いや特徴 ④コンピュータでの文字の扱い。 ⑤音楽プレーヤの利便性とディジタル技術の関連。 ⑥音のディジタル化のしくみ ⑦画像のディジタル化のしくみ。 ⑧画像のファイル形式	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：情報を数値であらわすことやコンピュータと２進法の関係，情報量のあらわし方、ディジタルデータとアナログデータの特徴や違いに関心を持つことができたか。 b：情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:情報機器を、用いて情報をディジタル化することができる。またディジタル化した情報を編集し、発信することができる。 d：コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。ディジタル化の利点について理解している	授業観察 ペーパーテスト ワークシート 実習成果物

2学期	情報社会とディジタル技術	⑨インターネットの基本プロトコル ⑩WWW と電子メールのしくみ	 ○	○ ○		○ ○	a: インターネットを構成している機器とその役割,それを支えるプロトコルに関心を持つことができたか。 b: 各プロトコルの用途や役割と，各プロトコルごとのデータのやり取りの流れついて整理することができたか。 c: 基本的なマナーを守って電子メールを作成，送信することができるか。 d: インターネットを構成している機器とその役割,それを支えるプロトコルのはたらきを理解することができたか。	授業観察 ペーパーテスト ワークシート 実習成果物
	アカデミック・スキルズ③数値データの活用	・表計算ソフトウェアの基本操作 ・数値データ活用の一連の流れ	○ ○	○	○ ○	○	a: ・実習に積極的に取り組むことができたか。 b: ・取り上げたテーマに関連したデータを集め，それを整理するのに適切な表やグラフを選ぶことができたか。集計のために計算式を考えることができたか、必要に応じて適切な関数を選ぶことができたか。 c: 表計算ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。見やすい表やグラフを作成することができたか。計算式や関数の利用方法を身に付けることができたか。 d: 表計算ソフトウェアの実習を通して，取り上げたテーマについての知識を深めることができたか。	
2学期	情報社会に生きるわたしたち	①コミュニケーション手段の発達 ②インターネット上のコミュニケーションサービス ③情報の信憑性 ④情報漏洩やマルウェアの被害を防ぐ方法 ⑤サイバー犯罪の特徴と防止策。 ⑥知的財産権とその保護の目的 ⑦著作物の取り扱い方 ⑧個人情報，プライバシー，肖像権	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:情報社会において、情報の発信者および受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動をしようとしている。 b: インターネットを介したコミュニケーションの特性を理解した上で，どのようなことに注意すればよいかを考えることができたか。サイバー犯罪の手法を知り，それぞれに有効な対策を考えることができたか。知的財産に関する権利や個人情報を保護する目的を理解し，法律の果たす役割を考えることができたか。 c: 情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d: インターネット上のコミュニケーションの特性と注意点を理解することができたか。サイバー犯罪の特徴と防止策について理解することができたか。知的財産権や個人情報を保護する目的を理解できたか。	授業観察 ペーパーテスト ワークシート 実習成果物

3学期	情報社会と問題解決	①情報格差 ②テクノストレスやインターネット依存 ③問題とは何かを知り，基本的な問題解決の流れについて理解する。 ④アイディアを広げる方法	○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○	a：情報社会が抱える問題について関心を高めることができたか。情報社会の課題を認識し，よりよい情報社会を築くために必要なことを積極的に考えることができたか。 b：問題解決のためのさまざまな手法を状況に応じて使い分けることができたか。 c：さまざまな情報源から問題解決に役立つ情報を集めることができたか。問題解決のための手法を適切に用いることができたか。 d：情報社会が抱える問題について理解することができたか。よりよい情報社会を築くために必要な取り組みについて理解することができたか。	授業観察 ペーパーテスト ワークシート 実習成果物 発表 自己評価・相互評価
	アカデミック・スキルズ②プレゼンテーション	■スライド作成の基本操作を身に付ける。 ■プレゼンテーションの一連の流れに取り組む。	○ ○	○	○ ○	○	a：実習に積極的に取り組むことができたか。 b：取り上げたテーマに関連した情報を集め，図解等を用いてわかりやすい資料にすることができたか。集めた情報を根拠にして，プレゼンテーションに説得力を持たせることができたか。 c：プレゼンテーションソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。理解しやすいスライドを作成することができたか。話の流れはわかりやすく，聞き取りやすい話し方ができたか。 d：プレゼンテーションの実習を通して，取り上げたテーマについての知識を深めることができたか。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。